

# 令和6年度 社会福祉法人野田みどり会 事業報告

## 【総括】

事業運営につきましては、法人理念である「すべての人を幸せに」との基本方針に基づき取組を実施しました。

高齢者事業は、ICT(情報通信技術)の活用による生産性向上を図るとともに、介護技法のひとつである持ちあげない、抱えあげない介護「ノーリフティングケア」の実践・定着に取り組み、労働環境の改善やサービス向上に努めました。

障がい者事業は、ハーモニーホーム短期入所事業を開始するなど、ご利用者様のご要望等にお応えできるよう取り組みました。

収入面では、事業収益は特別養護老人ホーム鶴寿園(従来型)や特別養護老人ホーム野田市楽寿園等における利用者数の増により介護保険事業収益が前年度を上回る結果となりました。また、ハーモニーホームの通年事業等による障害福祉サービス等事業収益の増加もあり法人全体のサービス活動収益は前年度を上回る結果となりました。

人件費は、労働保険料等の増により増額となりました。

事業費は、食材料費、水道光熱費等の増により増額となりました。

事務費は、広報費、手数料等の増により増額となりました。

この結果、今期の決算は、事業活動計算書のサービス活動収益は前年度比5.2%増の1,633,591千円、サービス活動費用は前年度比4.5%増の1,547,295千円、サービス活動増減差額は前年度比18.3%増の86,296千円となりました。

当期の業績

サービス活動収益	1,633,591千円	前年度比	5.2%増
サービス活動費用	1,547,295千円	前年度比	4.5%増
サービス活動増減差額	86,296千円	前年度比	18.3%増
経常増減差額	84,594千円	前年度比	18.2%増
当期活動増減差額	84,937千円	前年度比	13.1%増

※各事業拠点の状況は、後述します。

## 【事業所別報告】

### I 法人事務局

#### 1 取組内容

- ①各事業所の所管業務の一部を移管するとともに情報共有の強化に努めることで、法人事務局の所管業務を機能的かつ効率的に拡充することができました。
- ②職員確保においては、就職相談会参加、広告掲載、採用専用サイトの運営、エージェント取引会社等との取引件数の拡大を通じ安定した紹介数を確保することで49人の職員を採用することができました。
- ③広報に関しては、パンフレット、封筒、名刺、看板など、各広報物のデザインを統一することで、ブランドイメージの向上に努めました。

- ④職員のキャリアアップ及び資格取得支援を目的として法人内で介護福祉士実務者研修を1回実施しました。その結果、5人が介護福祉士実務者研修資格を取得し、さらに1人が介護福祉士国家試験に合格しました。

## 2 理事会・評議員会

(1) 理事会4回開催 場所：特別養護老人ホーム鶴寿園（従来型）地域交流室

開催日時	議案等
令和6年6月12日(水) 午後2時から 出席者数 理事7人 監事2人	令和5年度事業報告書について 令和5年度決算書について 定時評議員会の招集について 運営規程の一部改正について 令和6年度上期賞与支給総額の決定について 令和6年度資金収支予算の補正について(一次) 理事長の職務執行について 社会福祉充実残額について
令和6年10月30日(水) 午後2時から 出席者数 理事7人 監事1人	令和6年度上期事業報告について 定款の変更について 職員給与規程の一部改正について 非常勤職員就業規則の一部改正について ヘルパー就業規則の一部改正について 嘱託職員就業規則の一部改正について 令和6年度下期賞与総額の決定について 令和6年度資金収支予算の補正について(二次) 評議員会の招集について 理事長職務の執行について 割増賃金の基礎となる賃金算出誤りによる遡及払いについて 野田市心身障がい者福祉作業所の民間譲渡について
令和7年2月12日(水) 午後2時から 出席者数 理事7人 監事2人	職員給与規程等の一部を改正する規程について 育児・介護休業等に関する規則の一部改正について 運営規程の一部改正について 投資信託による管理運用について 職員給与の昇給資金量について 評議員会の招集について 理事長職務の執行について
令和7年3月12日(水) 午後2時から 出席者数 理事7人 監事2人	令和7年度事業計画書について 令和7年度資金収支予算書について 運営規程の一部改正について 令和6年度資金収支予算の補正について(三次) 第六期3か年事業計画の期間延長について 指定管理者基本協定書の締結について

	令和7年度指定管理者年度協定書の締結について 令和7年度業務委託等の契約締結について
--	---

(2) 評議員会 3回開催 場所：特別養護老人ホーム鶴寿園（従来型）地域交流室

開催日時	議案等
令和6年6月27日(木) 午後2時から 出席者数 評議員7人	令和5年度事業報告書について 令和5年度決算書について 令和6年度資金収支予算の補正について(一次) 社会福祉充実残額について
令和6年11月19日(火) 午後2時から 出席者数 評議員7人	定款の変更について 令和6年度資金収支予算の補正について(二次)
令和5年11月21日(火) 午後2時から 出席者数 評議員8人	令和5年度資金収支予算の補正について(二次)
令和7年3月25日(火) 午後2時から 出席者数 評議員6人	令和7年度事業計画書について 令和7年度資金収支予算書について 令和6年度資金収支予算の補正について(三次)

### 3 監査等

(1) 監事監査 場所：特別養護老人ホーム鶴寿園（従来型）地域交流室

実施日時	結果(通知)
令和6年5月28日(火) 午前10時から 出席者数 監事2人	事業報告等監査結果 ・事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。 ・理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。 計算関係書類及び財産目録 ・計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。 補足意見 ・3月31日満期の定期預金の利息について、満期日が日曜日のため翌日の4月1日に利息が入金されているが、銀行の勘定上3月31日扱いで付利されており年度末の残高証明についても利息を加えた額で証明されている。通帳の記帳上も3月31日扱いと記されているので、3月31日に収入として計上するのが適当であるので訂正願いたい。 ・目的積立金の積立処理について、経理規程37条に謳われている決算承認の理事会後2か月以内に資金移動という

	<p>ルールに従ってまだ資金移動はされていないが、財産目録上では定期預金名目で記載されている。3月31日現在ではまだ普通預金に資金があるので訂正願いたい。</p> <p>・監査を通じて人材の確保が課題となっていることが伺えた。人材を獲得するためには賃金水準の増加等法人にとって厳しい面があると思うが、特別休暇等の福利厚生面をアピールしていく事も有効なのではないかと考える。今後の人材確保に活用していただきたい。</p>
--	---

(2) 社会福祉法人指導監査

場所：特別養護老人ホーム鶴寿園（従来型）地域交流室

令和6年11月14日(木) 午後1時30分から	文書指摘事項 運営管理なし 会計管理 なし
----------------------------	-----------------------------

4 人事関係調書

採用者は49人（正規職員20人、非常勤職員29人）、退職者は41人（正規職員23人、非常勤職員18人）と採用者が上回ることとなりましたが、引き続き人材確保に苦慮している状況です。

新卒者の確保につきましては、前年度は3人で、本年度は専門学校卒業者1人（介護福祉士有資格者）を確保することができました。

(1) 在籍者

	職員数(4月1日)		職員数(3月31日)		平均勤続年数		平均年齢(歳)	
	6年度	5年度	6年度	5年度	6年度	5年度	6年度	5年度
正職員	160人	148人	147人	153人	11年2か月	10年8か月	42.5	42.1
非常勤職員	87人	86人	105人	97人	6年8か月	8年1か月	59.0	59.1
嘱託職員	6人	7人	6人	7人	14年7か月	13年7か月	63.5	62.9
総計	252人	242人	260人	255人	10年8か月	10年7か月	50.1	50.1

(2) 採用者・退職者

	採用者		退職者		平均勤続年数(退職者)		離職率	
	6年度	5年度	6年度	5年度	6年度	5年度	6年度	5年度
正職員	20人	23人	23人	17人	4年2か月	3年8か月	15.0%	11.3%
非常勤職員	29人	24人	18人	22人	5年10か月	4年9か月	18.6%	24.0%
嘱託職員	0人	0人	0人	1人	-	-	-	100.0%
総計	49人	47人	41人	41人	5年0か月	4年3か月	16.4%	17.7%

## Ⅱ 高齢者支援事業部

### 1 特別養護老人ホーム鶴寿園（従来型）

#### (1) 取組内容

- ①ご利用者様が望む暮らしの実現に向けて、定期的な施設サービス計画書の見直しと職員会議における多職種協働での検討を推進しました。看取りケアにおいては、年間 19 人のご利用者様に対し、最期までご家族と共に過ごせるよう支援を実施しました。職員研修及び育成については、職員不足や感染症対応のため、集合形式での学習会開催には至りませんでした。日々の業務を通じた OJT による介護技術指導を実施しました。
- ②機能訓練指導員を中心に、ご利用者様の「立つ」、「座る」、「食べる」といった基本動作の維持向上と、ベッド・車椅子間の移乗における抱え上げ介助の「ゼロ」を目指し個別機能訓練を継続して実施しました。目標達成に向け移乗ボードの数を増強し、より多くのご利用者様が安全かつ自立した移乗動作を行えるよう、取組を拡充します。
- ③前年度と比較して入院者数が 7 人増加、延べ入院日数は 93 日増加した影響により、1 日当たり平均入居者数が減少し、目標を達成することができませんでした。主な要因は、心疾患、がん治療、尿路感染症、腸閉塞によるものです。また、新型コロナウイルス感染症の感染が年 5 回確認されました。ご利用者様 20 人、職員 9 人が陽性となり、陽性者に対する対策を延べ 53 日間実施しました。また、9 月及び 10 月にご利用者様 10 人と職員 14 人が疥癬と診断され、ご利用者様全員に内服薬と外用薬による治療と施設内全般の消毒等の対応を実施しました。今後も感染症を施設内に持ち込まないことを最重要課題とし、職員の体調管理を徹底するとともに、ご利用者様が安心して生活していただける環境づくりに継続して努めます。
- ④特養空床期間については、年度全体の平均空所期間は 6.5 日となり、上期の 4.6 日から悪化しました。主な要因は、新型コロナウイルス感染症陽性者発生に伴う新規受け入れの遅延及び他福祉施設からの入居に平均 14 日程度を要したことによるものです。次年度はこれらの課題に対応し、空床期間短縮に向けた取組をより一層強化します。ショートステイの平均稼働人数は前年度比で 0.5 人増加したものの目標達成には至りませんでした。下期から月 4 回程度の営業活動を実施した結果、利用に関する依頼や相談件数が増加しており、今後も安定的な稼働率向上を目指し、効果的な営業活動を継続します。
- ⑤大規模改修につきましては、仕様の検討に時間を要し、次年度に持ち越しとなりました。

## (2) 利用実績

	特養(1日)	ショートステイ(1日)
定員	54人	16人
令和6年度目標平均入居者数(1日)	53.3人	14.2人
令和6年度実績平均入居者数(1日)	53.0人	13.7人
達成率	99.5%	96.4%
令和5年度実績平均入居者数(1日)	53.3人	13.2人

サービス活動収益につきましては、特養前年度比 1.5%増の 244,587 千円、ショートステイ前年度比 7.7%増の 59,529 千円となりました。主な要因は、介護報酬改定及び居住費変更による増、ショートステイ利用延人数及び平均介護度の増によるものです。

一方、サービス活動費用につきましては、特養前年度比 1.6%増の 217,741 千円、ショートステイ前年度比 1.2%増の 58,375 千円となりました。主な要因は、介護用品費、消耗器具备品費、水道光熱費の増によるものです。

その結果、当期活動増減差額につきましては、特養 10,660 千円、ショートステイ 1,158 千円となりました。

## 2 特別養護老人ホーム鶴寿園（ユニット型）

### (1) 取組内容

- ①緊急度の高い利用者に対して、年間 13 回のミールラウンドを実施し、食事時の姿勢改善や、食具および食事形態の見直しを通じて誤嚥リスクの低減に努めましたが、結果として 3 人が誤嚥性肺炎で入院となりました。  
また、各ユニットに服薬介助マニュアルを掲示し、服薬ボックスの変更を実施することで誤薬事故防止に努めました。さらに、ケアプラン作成時には多職種間でケア内容の見直しを図り、体調不良の際には速やかにご家族へ報告し支援を行い、30 人の看取りケアを実施しました。
- ②ノーリフティングケア委員会を設置し、毎月の進捗状況を確認しながら、スライドボードやリフト移乗の可能性について検討する機会を設けました。  
また、リフトリーダー研修には委員 2 人が参加し、移乗リフトや特殊機械浴槽のデモを活用して福祉機器の導入を検討しました。さらに、スライドボードおよび移乗リフトを活用した移乗動作の改善と生産性向上に取り組むことで、職員と利用者の双方の負担軽減に努めました。
- ③入居待機者の確保につきましては、入居申請者が少ない状況下で年 24 回の入居検討委員会を開催しましたが、年間 41 人の退去者が発生したため目標稼働率の達成には至りませんでした。また、ショートステイでは入居申請者が少ない上、入居待ちのショート長期利用者が直ちに特養へ入居するため、目標稼働率の達成が困難な状況でした。しかし、現在は「すぐに入居可能な特養」としてアピールし積極的な営業活動を続けた結果、10 人以上の待機者を確保しています。

## (2) 利用実績

	特養(1日)	ショートステイ(1日)
定員	90人	10人
令和6年度目標平均入居者数(1日)	88.7人	8.9人
令和6年度実績平均入居者数(1日)	87.2人	7.2人
達成率	98.3%	80.5%
令和5年度実績平均入居者数(1日)	88.7人	8.1人

サービス活動収益につきましては、特養前年比 0.7%増の 482,533 千円、ショートステイ前年度比 13.1%減の 38,326 千円となりました。特養においては、前年度比で退所者が 136.7%増(41人)、入院日数が 278.9%増(594日)となった結果、利用者数が減少しましたが、その減少を上回る介護報酬改定による報酬単価の増が見られました。ショートステイでは、介護職員不足のため、一時的な利用調整をしたことが要因です。

一方、サービス活動費用につきましては、特養前年度比 0.6%減の 422,300 千円、ショートステイ前年度比 0.6%増の 41,577 千円となりました。特養の主な要因は、修繕費と委託費の減によるものです。ショートステイは事業費の増によるものです。

その結果、当期活動増減差額につきましては、特養 1,401 千円、ショートステイ△3,207 千円となりました。

## 3 デイサービスセンター鶴寿園

### (1) 取組内容

- ①職員のスキル向上と事故防止に関する内部研修を実施しました。その他、事業継続や経営改善、余暇活動に関する外部セミナーに参加し、営業上のポイントを確認することで広報誌の見直しなどに反映させました。
- ②ご利用者様及びご家族様を対象にアンケート調査を実施し、その結果からニーズを把握することで、余暇活動やイベントのさらなる充実を図るための改善に努めました。
- ③新規ご利用者様及び増回ご利用者様に迅速に対応するため、週単位で空き状況を更新し、専従相談員が不在の場合でも対応可能な体制を整備しました。

### (2) 利用実績

	定員	営業日数	平均利用者数(1日)
令和6年度目標	30人	313日	25.6人
令和6年度実績	30人	313日	22.9人
達成率			89.4%
令和5年度実績	30人	365日	21.6人

サービス活動収益につきましては、前年度比 4.4%減の 73,284 千円となりました。主な要因は、施設入所や長期入院による利用取消者の増によるものです。

一方、サービス活動費用は、前年度比 4.6%増の 66,340 千円となりました。主な要因は、人件費の増によるものです。

その結果、当期活動増減差額につきましては、1,421 千円となりました。

#### 4 鶴寿園訪問介護事業所

##### (1) 取組内容

- ①ご利用者様一人一人のニーズに合わせた最適な訪問介護計画書を作成し、より良いサービスの提供に努めました。また、各ご利用者様に対応したケア手順書を作成することで、統一感のあるサービスの実現を図りました。
- ②特定事業所加算（Ⅱ）の算定要件となる事業所会議と研修計画に基づいた内部研修を実施しました。また、担当する利用者情報や留意事項の伝達を通じ、サービスの質向上に寄与する取組を推進しました。
- ③業務役割分担表を作成し業務削減に努めるとともに、必要な手順を抽出した業務フローを整理し、その内容を職員間で共有できるよう取り組みました。
- ④職員間のコミュニケーションを円滑にし、報告・連絡・相談がしやすい環境づくりに取り組むことで、人材確保につなげました。

##### (2) 利用実績

	利用人数	営業日数	平均稼働時間(月)
令和 6 年度目標	132 人	365 日	851 時間
令和 6 年度実績	106 人	365 日	724.7 時間
達成率	85.2%		
令和 5 年度実績	107 人	366 日	805.8 時間

サービス活動収益につきましては、前年度比 8.5%減の 44,474 千円となりました。主な要因は、施設入所や長期入院による利用取消者の増によるものです。

一方、サービス活動費用につきましては、前年度比 1.1%減の 42,483 千円となりました。主な要因は通信運搬費の減によるものです。

その結果、当期活動増減差額につきましては、591 千円となりました。

#### 5 鶴寿園居宅介護支援事業所

##### (1) 取組内容

- ①「暮らしの継続」を支援するため、月 1 回の定期訪問でご利用者様とご家族様の意向を丁寧に把握し、心身・生活状況の変化に応じた対応をしました。日々の密な多職種連携による情報共有で、ご利用者様の意向を尊重した多角的なサービス提供に努めました。
- ②各事業所の特徴把握と顔の見える関係づくりを推進し、事業所内での情報共有と多角的な検討により、ご利用者様にとって最適な事業所を複数提案できるようになりました。関係機関との緊密な連携と丁寧な情報提供・選択支援を通じて、安心してサービス利用を開始できるよう努めました。

- ③職員の資質向上のため、毎月事業所内研修と法人内研修へ積極的に参加。資格更新、制度改正、ハラスメント等、多岐にわたる研修内容を共有し、事業所全体の知識向上を図りました。
- ④ICT活用により訪問間の時間を有効活用し、記録作成や電話対応を効率化することで、前年度比161時間の時間外勤務削減を実現し、職員の負担軽減と質の高い支援提供に繋がる環境を整備しました。
- ⑤高齢者支援事業部の一体的運営でサービス空き状況を共有し、総合的なサービス提供体制の強化と稼働率向上を図りました。今後は、更なるサービス質の向上に向けた具体的施策を推進します。

(2) 利用実績

	営業日数	平均利用者数(1月)
令和6年度目標	255日	205人
令和6年度実績	255日	224.5人
達成率		109.5%
令和5年度実績	256日	239.9人

サービス活動収益は、前年度比3.9%減の36,342千円となりました。主な要因は、職員1人減に伴い、受入件数が縮小したことによるものです。

一方、サービス活動費用は、前年度比12.1%減の28,920千円となりました。主な要因は、人件費の減によるものです。

その結果、当期活動増減差額は6,201千円となりました。

6 複合老人ホーム野田市楽寿園(特別養護老人ホーム・養護老人ホーム)

(1) 取組内容

- ①特養ご利用者様の意向調査及び多職種との意見交換を通じて作成した充実したケアプランに基づき、ご利用者様の日常生活に即したケアを提供することができました。
- ②特養入居待機者の確保につきましては、ご入居をお待ちの皆様に必要な情報を随時ご提供するとともに入居までの手続や流れについて事前に丁寧な説明を行い、安心してスムーズにご入居いただけるよう努めました。なお、空床期間は平均7.8日でした。
- ③余暇活動の一環として、楽寿園として5年ぶりに夏祭りを開催しました。また、敬老行事では慰問グループによる華やかな舞踊をご鑑賞いただき、ご利用者様に大変ご満足いただくことができました。さらに、養護では7月、9月、12月に買い物行事を実施し、2月からは特養・養護ご利用者様へ月2回のカラオケクラブを再開するなど、日々の生活に楽しみを感じていただけるよう努めてまいりました。
- ④地域との共生を推進する活動の一環として、コロナ禍で休止していた養護ご利用者様による防犯パトロールを再開するとともに、地域の大祭にも参加いたしました。また、エコキャップ回収事業では、自治会館、公民館、中学

校、小学校などを合わせ計 13 回訪問いたしました。これらの活動で収集したエコキャップは N P O 法人に提供され、医療支援、障がい支援、子どもたちの環境教育等、さまざまな社会貢献活動に役立てられています。

- ⑤前年度と比較して入院者数は特養で 12 人減（延べ入院日数 49 日減）、養護で 1 人増（延べ入院日数 143 日増）となりました。また、養護ご利用様様が新型コロナウイルス感染症に 12 人、インフルエンザに 1 人、また、1 月には特養ご利用様様 1 人が疥癬に罹患されましたが、適切な感染症対策を講じた結果、感染拡大を防ぐことができました。

## (2) 利用実績

	特 養	養 護
定員	29 人	41 人
令和 6 年度目標平均入居者数(1 日)	28.0 人	30.0 人
令和 6 年度実績平均入居者数(1 日)	28.5 人	24.2 人
達成率	101.7%	80.8%
令和 5 年度実績平均入居者数(1 日)	28.2 人	26.2 人

※ 養護の目標平均入居者数は予算定員

サービス活動収益につきましては、特養前年度比 8.8%増の 135,590 千円、養護前年度比 10.0%増の 111,018 千円となりました。主な要因は、新規加算の取得、特養利用延人数及び平均介護度の増によるものです。

一方、サービス活動費用につきましては、特養前年度比 1.29%減の 118,069 千円、養護前年度比 15.2%増の 99,093 千円となりました。主な要因は、給食費、水道光熱費、給食業務委託料の増によるものです。

その結果、当期活動増減差額は、特養 15,772 千円、養護 8,682 千円となりました。

## 7 野田市岩木小学校老人デイサービスセンター

### (1) 取組内容

- ①サービス面においては、小学校との交流や夏休みを活かした高校生・大学生による職業体験ボランティア、介護支援ボランティアの受け入れを拡大し、ご利用様に多世代との交流機会を増やすことができました。また、個別外出行事では、例年実施している花見や初詣などの季節行事に加え、ご利用様の希望に応じた個別外出を年 3 回、さらに機能訓練を兼ねた外出を年 2 回実施いたしました。これにより、ご利用様の「外出希望」というニーズにお応えすることができました。
- ②利用登録者数、送迎ルート、空き状況、利用状況などの情報を職員間で共有し、ご家族様や担当介護支援専門員との連絡が円滑に行える体制を整えることで、職員および関係機関との連携強化を実現しました。また、年に一度のサービス満足度調査及びニーズ調査を実施し、その結果を踏まえてサービス改善に努めました。

- ③居宅介護支援事業所に対して月1回の営業活動を実施し、広報誌などを配布することで、当事業所の特色である小学校との交流会や「岩木デイ」のサービスニーズを広く周知しました。また、地域向け講習会を3回実施し合計32人のご参加をいただきました。利用につながるケースは少なかつたものの地域に事業所の活動を効果的にアピールでき、介護支援ボランティアや民生委員の方々と繋がる機会を得ることができました。新規利用者数は年12人と前年同数でしたが、取消者数は前年よ4人減少したにもかかわらず、複数回利用され終了されたご利用者様の利用回数が新規利用回数を上回ったため、目標稼働率の達成には至りませんでした。

(2) 利用実績

	定員	営業日数	平均利用者数(1日)
令和6年度目標	25人	309日	19.0人
令和6年度実績	25人	309日	16.4人
達成率			86.4%
令和5年度実績	25人	303日	16.6人

サービス活動収益につきましては、前年度比3.7%増の42,438千円となりました。主な要因は、介護報酬改定による報酬単価の増によるものです。

一方、サービス活動費用につきましては、前年度比1.2%増の46,195千円となりました。主な要因は、水道光熱費の増によるものです。

その結果、当期活動増減差額につきましては、△3,507千円となりました。

## 8 野田市東地域包括支援センター

(1) 取組内容

- ①地域の総合相談窓口として、来所・電話・訪問に対応し、3職種で情報共有と専門性を活かした早期対応を実施しました。地域連携のため、第3地区民生・児童委員定例会に毎月参加し関係構築し、民生委員との連携で地域住民への迅速な対応を実現することができました。令和7年度も地区の相談窓口定着を目指し、自治会や地域活動への参加、広報活動を継続します。
- ②高齢者が安心して地域で暮らせるよう関係機関や多職種と連携し、資源を有効活用した包括的・継続的な支援を実施しました。地域ケア地区別会議で地域課題を共有し顔の見える関係を構築することができ、令和6年度の地域課題として地域住民が集える場であるオレンジカフェを開催しました。
- ③介護支援専門員への個別相談と具体的支援を実施しました。介護予防の取組としては、月1回「えんがわ」を開催することで高齢者の社会参加を促進し、認知症サポーター養成講座で地域住民の理解を深め、住み慣れた地域でその人らしい暮らしを続けられる地域づくりに努めました。

## (2) 利用実績

	職員数	相談人数(月)	予防給付等 利用者数(月)
令和6年度目標	3人	200人	160人
令和6年度実績	3人	192人	155人
令和5年度実績	3人	165人	143人

サービス活動収益は、前年度比0.1%増の20,118千円となりました。

一方、サービス活動費用は、前年度比5.1%増の18,431千円となりました。主な要因は、人件費の増加によるものです。

その結果、当期活動増減差額は△14千円となりました。

## Ⅲ 障がい者支援事業部

### 1 ハーモニーホーム

#### (1) 取組内容

- ①親元を離れて地域で暮らす中、ご利用者様とともに自治会からの回覧物や野田市報などにより、地域情報の把握を行いました。
- ②短期入所及び一時支援事業においては、男性棟に開所日の制限があるものの、受け入れ体制を整えることで、ご家族様のレスパイトケア及び働くご家族様へのサポートなどのご要望にお応えする形で支援を実施しました。その結果、定期的なご利用の増加につながりました。
- ③親子別居に伴う心情の整理とケアを常に念頭に置き、支援を実施してまいりました。年度中に、親御さんの急逝という事例が1件発生しましたが、各関係事業所との連携により、ご本人様は安心して従来のご生活を継続していただいております。今後は、親亡き後も支えとなる生活の場としてのグループホームの在り方について、ご利用者様及びご家族様とともに再確認し、理解を深めます。

#### (2) 利用実績

	共同生活援助	短期入所	一時支援
令和6年度目標	12.8人	2.5人	1.2人
令和6年度実績	11.8人	0.6人	0.8人
達成率	92.6%	25.2%	64.4%
令和5年度実績	8.8人	0.06人	-

サービス活動収益につきましては、270.5%増の64,812千円となりました。主な要因は、1年を通して運営したことによるものです。

サービス活動費用につきましては、217.5%増の83,724千円となりました。主な要因は、1年を通して運営したことによるものです。

その結果、当期活動増減差額につきましては、△21,500千円となりました。

## 2 野田みどり会相談支援事業所

### (1) 取組内容

- ①ご利用者様が生活するうえで、自立することや前向きになれるよう、法人理念に立ち戻りながら相談支援に当たりました。
- ②関係機関と連携しながら、計画作成・モニタリングに特化せず、総合的な相談窓口としてご利用者様に日々生じる不安を解消できるよう業務に取り組みました。
- ③精神障がいをお持ちの方に配慮した対応を強化すべく、今年度から精神障がい者支援体制を整え、全利用契約者の53%の割合(令和7年3月31日現在)を占める精神障害者の特性に配慮し、必要に応じて基幹相談支援事業所とも連携しながら、計画相談支援を行いました。
- ④重度の障がいや医療的ケアを日常的に必要なご利用者様のご家族の負担に配慮しながら、ご家族の緊急時やレスパイトに対応できるよう計画作成や社会資源の提案に努めました。

### (2) 利用実績

	計画作成	継続支援
令和6年度目標	94人	348人
令和6年度実績	134人	334人
達成率	142.6%	96.0%
令和5年度実績	116人	351人

サービス活動収益につきましては、前年度比4.9%増の7,471千円となりました。主な要因は、野田市相談支援事業の受託費増と計画作成件数の増によるものです。

サービス活動費用につきましては、前年度比2.2%増の4,822千円となりました。主な要因は、事務消耗品費の増によるものです。

その結果、当期活動増減差額につきましては、1,449千円となりました。

## 3 野田市心身障がい者福祉作業所

### (1) 取組内容

- ①生活介護に属する重度のご利用者様へは、個別支援が特に大切とされます。個々のニーズを改めて把握する目的で、支援が必要な方々の情報をまとめたライフサポートファイルによる再アセスメントを実施しました。また、強みや得意なことに焦点を当てたストレングス視点での評価により、重度ご利用者様の潜在能力を見出し、その結果を支援方法の見直しに活用しました。
- ②就労継続支援B型では、9社の下請け業者との取引により、多彩な作業種目の確保を実現し、ご利用者様の得意・不得意に合わせた作業提供を行いました。その成果として、作業効率や技術が向上し、ご利用者様に対する評価が承認欲求の充足及び意欲向上を促しました。

- ③今年度は、流山市にあるB型事業所「南天の木」と自主生産品の取引を新たに開始しました。また、コロナ明けを背景に協議会主催の合同販売会の再開や産業祭、地域バザーへの出店に注力した販売活動を展開しました。イベントに合わせた在庫の調整等を行うことで、効率的な収益向上を実現しました。
- ④特別支援学校高等部から1年生2人及び3年生1人の実習受入れを実施しました。なお、3年生については進路先事業所に選定いただき、令和7年度4月に入所となりました。

## (2) 利用実績

		生活介護		就労支援B型	
定員（125%利用可）		令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度
		25人	25人	15人	15人
営業日数		245日	243日	245日	243日
目標平均利用者数（1日）		26.3人	27.2人	10.5人	12.2人
実績平均利用者数（1日）		25.4人	24.3人	9.3人	10.3人
達成率		96.5%	89.3%	88.2%	84.4%
		令和6年度		令和5年度	
年間作業収入年間（生活介護収入も含む）	目標	1,500千円		1,356千円	
	実績	1,506千円		1,283千円	
	達成率	100.4%		94.6%	
1人平均月額工賃	目標	10,000円以上		6,000円以上	
	実績	12,160円		5,956円	
	達成率	121%		94.2%	

サービス活動収益につきましては、生活介護前年度比6.9%増の65,111千円、就労継続支援B型前年度比14.1%減の18,185千円となりました。主な要因は、介護給付費と延べ利用者数の増によるものです。

サービス活動費用につきましては、生活介護前年度比11.5%増の59,444千円、就労継続支援B型前年度比16.6%減の17,517千円となりました。主な要因は、生活介護及び就労継続B型ともに人件費の増減によるものです。

その結果、当期活動増減差額につきましては、生活介護3,643千円、就労継続支援B型197千円となりました。

## 4 野田市立あおい空

### (1) 取組内容

- ①利用者支援に必要な研修として、摂食嚥下研修、サービス管理責任者、強度行動障害支援者養成研修、虐待防止研修などの外部研修参加のほか、施設内では機能訓練研修、感染症対策研修などの学習会を実施しました。
- ②機能訓練において計画的な運動内容を行い、記録と経過観察を行うことで、

都度、個々の課題に向けた運動内容の検討と変更に取り組みました。その結果、以前よりもご家族様と情報を共有することができました。年度末に実施した満足度調査でも高い評価をいただくことができました。

- ③一時支援は、キャンセルの代替日を提案したことで延べ利用人数の増につながりました。短期入所は、身体状況の変化により利用されなくなった方がいたこともあり利用率減となりました。

(2) 利用実績

	定員(登録)	営業日数	平均利用者数(1日)
令和6年度目標	20(22)人	233日	20.2人
令和6年度実績	21(22)人	233日	19.8人
達成率	98%		
令和5年度実績	20人	233日	18.9人
サービス		一時支援	短期入所
定員		6人	3人
営業日	令和6年度	278日	84日
	令和5年度	278日	99日
	増減	—	—
サービス		一時支援	短期入所
利用者延人数	令和6年度	1225人	216人
	令和5年度	1189人	260人
	前年比	3.0%増	17.0%減
1日当り平均人数	令和6年度	4.4人	2.6人
	令和5年度	4.2人	2.6人
	前年比	4.0%増	増減なし

サービス活動収益につきましては、前年度比12.9%増の189,773千円となりました。主な要因は、介護給付費の増によるものです。

サービス活動費用につきましては、前年度比7.8%増の153,784千円となりました。主な要因は事業消耗品器具備品費増によるものです。

その結果、当期活動増減差額につきましては、23,887千円となりました。

令和6年度 事業所別利用明細表

事業名	年	営業 日数	定員(人) ※1	利用者 延人数	利用率(%)	1日当		
						目標(人)		
特別養護老人ホーム鶴寿園(従来型)	今年度	365	54	19,352	98.2%	53.3		
	前年度	366	54	19,513	98.7%	53.0		
ショートステイ鶴寿園(従来型)	今年度	365	16	4,997	85.6%	14.2		
	前年度	366	16	4,822	82.3%	14.0		
特別養護老人ホーム鶴寿園(ユニット型)	今年度	365	90	31,836	96.9%	88.7		
	前年度	366	90	32,456	98.5%	88.2		
ショートステイ鶴寿園(ユニット型)	今年度	365	10	2,611	71.5%	8.9		
	前年度	366	10	2,967	81.1%	8.9		
デイサービスセンター鶴寿園	今年度	313	30	7,185	76.5%	25.6		
	前年度	366	30	7,862	71.6%	21.0		
鶴寿園訪問介護事業所	今年度	365	200	8,697		805		
	前年度	366	160	9,520		795		
鶴寿園居宅介護支援事業所	今年度	255	265	2,573	104.6%	205		
	前年度	257	258	2,754	95.6%	240		
特別養護老人ホーム野田市楽寿園	今年度	365	29	10,392	98.2%	28.0		
	前年度	366	29	10,270	96.8%	28.0		
養護老人ホーム野田市楽寿園	今年度	365	41	8,848	59.1%	30.0		
	前年度	366	41	9,487	63.2%	30.0		
野田市岩木小学校老人デイサービスセンター	今年度	309	25	5,062	65.5%	19.0		
	前年度	303	25	5,044	66.6%	19.5		
野田市東地域包括支援センター	今年度	243		2,310		200		
	前年度	247		1,694		200		
ハーモニーホーム	共同生活援助	今年度	365	16	4,325	74.1%	12.8	
		前年度	183	16	1,606	54.8%	12	
	短期入所	今年度	365	5	230	12.6%	2.5	
		前年度	31	5	2	0.1%	2.9	
	一時支援	今年度	365	4	282	19.3%	1.2	
		前年度	0	4	0	-	-	
野田みどり会相談支援事業所	計画作成	今年度	252	-	134		※4	7.8
		前年度	252	-	116			7.8
	モニタリング	今年度	252	-	334		※4	29.0
		前年度	252	-	351			29.0
野田市心身障がい者福祉作業所	生活介護	今年度	245	31	6,216	81.8%	26.3	
				就労継続支援B型	13	2,268	71.2%	10.5
	生活介護	前年度	243	25(30)	5,917	78.5%	27.2	
				就労継続支援B型	15(14)	2,514	64.7%	12.2
野田市立あおい空	生活介護	今年度	233	20(22)	4,625	90.2%	20.2	
		前年度	233	20(21)	4,426	90.4%	18.9	
	日中一時	今年度	278	6	1,225	73.4%		
		前年度	279	6	1,189	71.0%		
	短期入所	今年度	84	3	216	85.7%		
		前年度	105	3	260	82.5%		

※1 野田市心身障がい者福祉作業所の定員( )内は実人数  
 ※2 1日当たり平均人数 訪問介護事業所のみ時間単位で表示  
 ※3 平均介護度の( )は障害支援区分を記載

令和7年3月31日現在

たり平均人数 ※2		利用者 1人1日 当たり単価	平均 介護度 ※3	平均年齢			入退所(人)		入院者	
実績(人)	達成率(%)			男	女	計	入所数	退所数	人数	延日数
53.0	99.4%	12,639	3.90	78.8	85.9	82.4	23	22	13	240
53.3	100.6%	12,344	3.90	77.0	85.4	83.3	21	22	6	147
13.7	96.5%	11,913	3.10	81.6	88.6	85.1				
13.2	94.3%	11,466	2.90	85.7	86.5	86.3				
87.2	98.3%	15,157	3.70	85.3	89.8	88.9	42	41	18	594
88.7	100.6%	14,759	3.80	84.6	89.3	88.4	30	30	12	213
7.2	80.9%	14,679	3.30	85.6	92.1	90.5				
8.1	91.0%	15,067	3.30	84.5	90.7	88.9				
22.9	89.5%	10,200	2.20	83.6	86.1	84.8	25	28		
21.5	102.4%	9,755	1.90	83.1	86.6	85.3	31	36		
724.7	90.0%	5,114	1.30	81.3	83.5	82.4	34	42		
793.4	99.8%	5,048	1.20	79.5	84.1	82.2	36	35		
224.5	109.5%	14,124	1.70	80.7	85.5	83.1	58	77		
239.9	100.0%	13,730	1.61	80.3	85.4	83.5	89	83		
28.5	101.8%	13,048	3.80	86.1	85.9	86.0	5	5	2	156
28.1	100.4%	12,143	3.60	88.1	85.5	86.2	8	8	14	205
24.2	80.7%	12,547		78.8	84.7	81.8	6	6	6	260
25.9	86.3%	10,636		78.7	85.2	82.2	1	4	5	117
16.4	86.3%	8,384	1.21	86.6	88.4	87.5	12	14		
16.6	85.1%	8,111	1.14	88.2	86.8	88.9	12	18		
192.5	96.3%									
141.2	70.6%									
11.8	92.6%	14,499	5.6	42.4	46.3	44.4	16	0		
9	74.4%	14,677	(5.6)	41	50	46	16	0		
0.6	25.2%	9,139	5.2	31.3	29.2	30.3	26	0		
1.0	2.2%	5,109	(4)	-	45.0	45.0				
0.8	64.4%		5.3	28.4	27.6	28.0	24	0		
-	-		-	-	-	-				
11.2	143.6%	※5 17,355	※6(3.7)	※6 42.9	※6 40.6	※6 41.2				
9.7	124.4%	17,332	(3.8)	42.9	39.3	41.1				
27.8	95.9%	※5 13,577	※6(3.7)	※6 42.9	※6 40.6	※6 42.2				
29.3	101.0%	13,571	(3.8)	42.9	39.3	41.1				
25.4	96.6%	10,475	4.98	35.3	37.8	36.6	0	1		
9.3	88.6%	8,018	4.00	52.0	42.0	47.0	1	0		
24.3	89.3%	10,293	(5.0)	36.0	36.0	36.0	0	1		
10.3	84.4%	8,429	(3.7)	51.0	40.0	45.5	0	2		
19.8	98.0%		6	31.9	29.0	30.5	1	0		
19.0	100.0%		(6)	31.8	28.0	29.9	1	0		
4.4				30.6	28.5	29.5				
4.2				29.4	28.8	29.1				
2.6				32.0	26.0	29.0				
2.2				31.0	26.0	28.5				

※4 相談支援事業所目標値は、1か月当たりの人数  
 ※5 相談支援事業所単価は、1件当たりの金額  
 ※6 相談支援事業所数値は、全登録者からの値

令和6年度事故等発生状況（年間）

(件)

事業所名	ヒヤリ/ハット			事 故			県・市(事故報告書)			苦 情		
	今年度	前年度	増減	今年度	前年度	増減	今年度	前年度	増減	今年度	前年度	増減
1 特別養護老人ホーム鶴寿園(従来型)	103	151	△ 48	160	173	△ 13	3	2	1	0	0	0
2 ショートステイ鶴寿園(従来型)	17	97	△ 80	21	52	△ 31	1	0	1	0	0	0
3 特別養護老人ホーム鶴寿園(ユニット型)	264	511	△ 247	258	381	△ 123	25	15	10	0	0	0
4 ショートステイ鶴寿園(ユニット型)	23	52	△ 29	22	49	△ 27	0	0	0	0	0	0
5 デイサービスセンター鶴寿園	61	36	25	32	32	0	2	0	2	0	0	0
6 鶴寿園訪問介護事業所	26	56	△ 30	13	8	5	0	0	0	0	0	0
7 鶴寿園居宅介護支援事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 複合老人ホーム野田市楽寿園(特養)	125	215	△ 90	143	127	16	8	2	6	0	0	0
9 複合老人ホーム野田市楽寿園(養護)	41	30	11	31	38	△ 7	6	1	5	0	0	0
10 野田市岩木小学校老人デイサービスセンター	69	59	10	13	8	5	0	0	0	0	0	0
11 野田市東地域包括支援センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12 ハーモニーホーム	11	4	7	16	10	6	0	0	0	0	0	0
13 野田みどり会相談支援事業所		0	0		0	0		0	0		0	0
14 野田市心身障がい福祉作業所	13	37	△ 24	52	45	7	0	0	0	0	0	0
15 野田市立あおい空	10	47	△ 37	12	10	2		0	0		0	0
計	763	1,295	△ 532	773	933	△ 160	45	20	25	0	0	0

※苦情解決運営規程に基づき報告された件数

おもな事例

ヒヤリ/ハット	事 故	県・市(事故報告書)
<ul style="list-style-type: none"> <li>居室からふらつきながら歩いて出てくる。</li> <li>車椅子から立ち上がる。</li> <li>立ち上がり時ふらつき転倒しそうになる。</li> <li>ベッド柵のかけ忘れ。</li> <li>センサーマットの電源入れ忘れ。</li> <li>車椅子から降りようとされる。</li> <li>歩行器を使用せず歩かれる。</li> <li>車椅子ブレーキのかけ忘れ</li> <li>異食しそうになる。</li> <li>立ち上がり時膝折れし転倒しそうになる。</li> <li>車椅子からずり落ちしそうになる。</li> <li>ベッド柵をつけ忘れる。</li> <li>歩行時つまずき転倒しそうになる。</li> <li>利用者間で口論になりそうになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表皮剥離</li> <li>車椅子から転落</li> <li>車椅子よりずり落ち</li> <li>尻もちをつく</li> <li>車椅子のフットレスト部分に挟まる形で床に座り込む</li> <li>暴言暴力行為（入居者間）</li> <li>ベッドから転落</li> <li>ベッド柵に頭をぶつける</li> <li>打撲</li> <li>誤飲</li> <li>誤食</li> <li>誤嚥</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>右大腿骨大転子部骨折</li> <li>左大腿骨大転子部骨折</li> <li>右大腿骨頸部骨折</li> <li>左大腿部頸部骨折</li> <li>右鼠径部骨折</li> <li>右肘関節骨折</li> <li>右親指第一中手骨折</li> <li>左大腿骨患部骨折</li> <li>胸椎圧迫骨折</li> <li>腰椎圧迫骨折</li> <li>誤薬</li> <li>服薬忘れ</li> </ul>